

## 別紙 A

### 四日市版コミュニティスクール報告書（令和元年度総括）

四日市市立三重北小学校

校長 川上 晃

#### 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、「地域とともに作る学校」の推進を図ります。

#### 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

##### (1) 教育活動の実践事例

###### ① 学習支援員による学習支援

地域住民や保護者の方々へ呼びかけ、さまざまな方にご協力いただき、低学年の音楽、中学年の書写（習字）、高学年の英語活動、読み聞かせ活動等の授業支援をいただいています。



【書写の学習支援】



【英語活動の学習支援】



【音楽の学習支援】



【読み聞かせ学習支援】

###### ② 地域学習活動

2年生「生活科・まちたんけん」をしながら、地域と深いかかわりのある場所ごとでお話を聞かせていただきました。



遠保神社宮司によるお話



善導寺住職による紙芝居



防火水槽横のポンプ

### ③ゲストティーチャーによる体験授業支援



【1年生昔の遊び体験活動】



【3年生たけのこ掘り体験】



【3年生昔のくらし】  
(七輪であられ焼き体験)



【4年生瓦割り体験】



田植え 【5年生米作り体験】



稲刈り



お墓調べ



防空壕の話



四日市空襲の話

#### 【6年生平和学習】

地域の方をゲストティーチャーとして迎え、地域資源を生かした体験活動の充実を図りました。1年生では、地域の長寿会（敬老会）の方々とともに、けん玉、コマ回し、羽子板、ダルマ落としなどのむかし遊びを体験しました。3年生ではタケノコ掘り体験と炭火の七輪であられを焼いて昔のくらしを体験しました。4年生では地域の瓦屋さんの屋根修繕見学と瓦割り体験をさせていただきました。5年生では、学校の前の田んぼでの田植えと稲刈り体験をし、収穫できた米を自然教室で飯盒炊爨に使うことができました。6年生は、地域の戦時中のくらしぶりや空襲の様子を教えていただき、また、慰霊塔見学やお墓調べ等で平和学習をしました。

#### (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

運営協議会委員長が学習コーディネーター役として、地域資源、地域人材など地域を活かした学校教育活動に積極的に参画しています。各学年に応じた教育活動に合わせたゲストティーチャー（本人をはじめとして団体や地域の方）を招き、様々な教育活動にご支援いただきました。地域資源を使って、地域の方々とともに体験活動をすることで、子どもたちは地域のことを知り、地域の方々とふれあえる機会となりました。自分の住んでいる地域を大切にしようとする心が育まれ、地域の方からも「学校に行くことが楽しみだ」とのお言葉をいただくことができました。地域と学校が連携・協力することで、学校が地域コミュニティの中心的存在となりました。

地域、保護者の学習支援員さんには、定期的に学習支援をしていただき、子どもたち一人ひとりにきめ細やかな支援を行うことができました。

学校日より、HP、地区回覧板などで、活動報告を発信したり保護者・地域の参加型行事を組んだりすることで、学校教育活動を地域に理解してもらおうと同時に、地域コミュニティの核としての学校づくりを推進することができました。

コミュニティースクール委員さんは、自治会、民生・児童委員、学習ボランティア、PTA役員など10名で構成されています。さまざまな立場から学校教育活動に対してのご意見、ご助言、ご提案をしていただいています。4年生の手話を使った学習発表に対して、「手話学習は実際に手話を必要としている人から本物を学ぶことが大切である」とご助言をいただきました。また、「あいさつ」の取組から、主体的にあいさつできる子が増えてきたことは成果であり、引き続き保護者・地域が一体となって手本を示し、地域挙げての「あいさつ運動」に発展していければとの願いを持っていただいています。

### 3 今後に向けて

学校では、学校づくりビジョンの実現に向けた取組を振り返り、成果と課題を明らかにしました。コミュニティースクール委員さんには、子どもたちの様子や教師の指導など学校の現状を把握してもらった上で評価およびご助言・ご提案をいただきました。

コミュニティースクール委員さんをはじめ、保護者・地域の方の学校教育活動への支援は、子どもたちの学力向上とともに心の教育にもつながっています。地域素材を活かした学習や体験活動を充実させるために、年間計画を明確にし、地域・保護者との連携を密にしていく事が何より大切です。コミュニティースクールは、学校が小規模化し、教職員の負担が増加する中、授業づくり、学校行事、環境整備等地域の力の活用を図っていくパイプ役になっていただいています。

このように、コミュニティースクールの実践を振り返り、次年度の学校づくりビジョン推進の取組によりよく活かし、地域とともに協働する学校づくりを推進していきます。

## 別紙B

## 令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立三重北小学校

委員長 樋口 和美

校長 川上 晃

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	9日(木) 10:30~12:20 第1回運営協議会	① コミュニティスクールについて ② 学校づくりビジョンの説明および承認 ③ 活動方針および年間活動計画 ④ 学校運営に対する意見交流 各教室にて給食試食会実施
6	20日(木) 13:30~15:30 第2回運営協議会	① 学校公開授業参観 ② 小規模校対策事業について ③ 取組報告(学年別行事、学習支援紹介) ④ 協議・情報交換
7		
8		
9		
10		
11	2日(土) 9:00~11:30 第3回運営協議会	① 土曜日活動 文化フェスティバル参観 ② 取組報告(全国学力・学習状況調査結果概要、三重北小体力向上の取組概要) ③ 協議・情報交換
12		
1	17日(金) 13:30~15:30 第4回運営協議会	① 6-1 授業参観 ② 参観された授業について ③ 学校自己評価について ④ 学校関係者評価について
2	14日(金) 11:00~12:00 第5回運営協議会	① 学校関係者評価について協議 ② 令和2年度学校づくりビジョンについて
3		